

士未ニシテ社會眞無

日本統治時代の台湾で烏山頭ダムを設計し、現場に張り付き一切の指揮をとるなど、用水網を含む灌漑整備に尽力した土木技師・八田與一の業績と地元民との交流を描いた長編アニメーション映画『ハッテンライ!!～南の島の水ものがたり～』が話題を集めている。ダム等の建設に要した歳月は10余年。工事中断など幾多の苦難を乗り越えての完成であった。映画は、ダム建設の経過や地元民との交流を、実話をベースに余すところなく伝えており、土木の持つ醍醐味や社会貢献の神髄を教える。土木インフラの重要性にスポットを当てた。

A black and white portrait of Tadashi Nakamura, a middle-aged man with glasses, wearing a dark suit, white shirt, and patterned tie. He is looking towards the right of the frame with a slight smile. The background is plain and light-colored.

A black and white portrait of Sakata Kenji, a man with dark hair and a mustache, wearing a suit and tie. The photo is framed by a thick black border.

岡山大学名誉教授

幅広い観点で1000年の大河

ノイの役割に意義あることは、必ずしも「雨露」と「水時」の差は、必ずしも「雨露」と「水時」の差ではない。しかし、それは、必ずしも「雨露」と「水時」の差ではない。

ムの役割と意義

不毛の大地が穀倉地帯に

台灣南部・嘉南平原は、地元住民にとっては洪水と干魃、塩害の三重苦にあえぐ不毛の大地であった。そこに計画されたのが大灌溉プロジェクトである。堤頂長1,273m、堤高56.6m、貯水量1億5,400万立方mといふ烏山頭ダムと総延長1万6,000mの用水網を建設。灌漑面積15万haは香川県全域に匹敵し、用水網は地球の半周近くに相当する。不毛の大地は台湾最大の穀倉地帯に変貌し、80年経つ今でも変わらず大地の恵みをもたらし続けている。また、台湾ではこの設備を嘉南大圳といふ。

台湾では八田與一のことを「台灣農業の恩人」として称え、ダムの脇に彼が工事中によく地面に腰を下ろして髪をいじっていた姿の銅像（座像）を建立。命日の5月8日には毎年、心のこもった墓前祭が行われ、今なお多くの人に書かれていく。



鳥山頭ダム脇にある八田與一の銅像 写真提供：大成建設